

教育出版 コミュニケーション英語Ⅱ（Ⅱ 334） 年間授業計画

講座名	コミュニケーション英語Ⅱ	担当者	
単位数	4 単位	選択・必修	
教科書	NEW ONE WORLD Communication II Revised Edition（教育出版）		
副教材等	NEW ONE WORLD Communication II Revised Edition『予習・復習ノート』（教育出版）（教育出版）		
	NEW ONE WORLD Communication II Revised Edition『Workbook』（教育出版）		

◎ 講座のねらい（目標）

1. 英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。
2. 英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深める。

◎ 授業の内容と学習方法

授業の内容は、コミュニケーション英語Ⅰで学習した内容を踏まえながら、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を使って、英語で情報を受け、発信することを主眼に置く。教科書の各レッスンは、さまざまな題材を通して文化や生き方などを学び、考え、そのあとの練習で発信していく構成になっている。本文を読んで題材に触れ、コミュニケーションを支える文法・語法を学ぶと同時に、インタビュー、スピーチ、ディスカッションなど、さまざまなコミュニケーション活動を通して、英語を発信することのおもしろさを味わい、積極的に英語を話そうとする態度を身につけていくことを目指す。学習方法は、ペアワークやグループワークを広範囲に取り入れる。

◎ 履修上の留意点

英語は言語であり、人と人とのコミュニケーションを図る手段である。人々とコミュニケーションを図るには、英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を表現し、発信することが大切になる。そのためには、日頃から相手の話をよく聞き、自分の考えを述べる習慣をつけ、また、積極的に異文化に触れることを心がけるとよい。授業では、積極的にペアワークやグループワークに参加し、他者と協力して行動していく姿勢が大切である。

◎ 評価の観点・方法

評価は、授業でのコミュニケーション活動への態度、ワークシートなどの提出物の内容、中間・期末の定期考査の成績、出席状況などを勘案して行う。各学期の成績を総合して年度末の学習成績とし、基準に到達すれば単位認定する。評価の観点は以下の通り。

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	・コミュニケーション活動への参加態度 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容
外国語表現の能力	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えているか。	・定期考査の成績 ・コミュニケーション活動の内容 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容
外国語理解の能力	・英語を聞いたり読んだりして、その概要や要点をとらえ、情報や考えなどを的確に理解しているか。	・定期考査の成績 ・ワークシートの提出頻度と内容
言語や文化についての 知識・理解	・英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。	・定期考査の成績 ・発表の内容 ・ワークシートの提出頻度と内容

◎ 授業計画

学期	月	配 当 時 数	単 元	学 習 内 容	備考(学習活動の 特記事項)	考 査 範 囲
1 学 期	4	8	Lesson 1 Ambassador of World Peace	- 日本人にとってサクラはどのような意味をもつのか、歴史や地域性、開花条件なども踏まえながら理解する。 - 現在完了形（受け身と進行形）＜have [has]been +分詞＞, 関係副詞(where, when, why, how) などの復習を通して、その定着を図る。 - サクラを通して、日本の文化や習慣・風習を確認し、概要や要点をとらえたりする。	日本人にとってのサクラの存在意義についてまとめ、発表する。	1 学 期 中 間 考 査
		8	Lesson 2 Dogs as Human Companions	- 古代から現代までのイヌと人間との関係を知り、今後のよりよい関係を理解する。 - 形式主語 it (that 節や to 不定詞を指すもの), 過去完了形＜had+過去分詞＞などの復習を通して、その定着を図る。また、比較を使ったさまざまな表現を理解する。 - ペットなど興味や関心のある事柄について、友だちと積極的に話し合ったり意見の交換をしたりする。	イヌと人間との関係についてまとめ、発表する。	
	5	8	Lesson 3 The Past, Present and Future of Umbrellas	- 傘についての情報を得ることにより、日本人の特性や、また傘の歴史を通して、ヨーロッパの風俗や当時の人々について理解する。 - SVC (=that 節, 疑問詞節, 現在分詞, 過去分詞), SV(O)O(=if 節)の用法を理解する。 - 傘についての情報を理解しながら、「将来の傘」について話し合ったり、その内容をまとめたりする。	「将来の傘」についてのアイディアをまとめ、発表する。	1 学 期 期 末 考 査
		10	Lesson 4 Different Ways to Enjoy Art Museums	- 有名な美術品の知られざる事実を通して、当時の風俗について理解する。 - SVOC(=現在分詞, 原形不定詞)の定着を図り、さらに SVOC (=過去分詞)の用法や、形式目的語 it (to 不定詞, that 節を指すもの)の用法を理解する。 - 好きな芸術作品や芸術家について、書いたり、発表したりする。	好きな芸術作品や芸術家について、グループで話し合う。	
		6	Reading 1 The Velveteen Rabbit	- 物語を読んで、内容を理解するとともに、登場人物たちの心の動きを理解する。 - 物語を音声的な特徴やスピード、声の大きさなどに注意しながら音読したり、概要や要点などを簡潔に書いたりする。	登場人物の気持ちなどが伝わるように物語を音読する。	
		6				
2 学 期	9	10	Lesson 5 How Climate Changes Are Affecting Us	- 地球温暖化の国内外の事例を読みながら、その原因や対策について理解する。 - seem+to 不定詞, to 不定詞の完了形＜to have +過去分詞＞, It+seems [appears]など+that 節, 過去完了進行形の用法を理解する。 - 説明を読んで、情報を理解するとともに、積極的に知り得た情報を友だちと話し合ったりする。	グループで、日常生活の中で感じる環境の変化について話し合う。	2 学 期 中 間 考 査

	10	10	Lesson 6 English Textbooks from Around the World	- 世界のさまざまな国や地域の英語の教科書を読み、日本との違いを理解する。 - 倒置構文、強調構文（It is [was]～that [who]...），動名詞の受け身＜being＋過去分詞＞，助動詞＋完了形の用法を理解する。 - 異文化を踏まえて、読んだ内容について理解し、概要や要点をまとまりのある文章として書く。	国や地域による身近な文化の違いについてまとめ、異文化について紹介する文を書く。	2学期 期末 考査
	11	10	Lesson 7 The Hayabusa Project	「はやぶさ」プロジェクトについて知り、成功するまでのさまざまな問題点や、その成果が意味するものを理解する。 - 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 whose, 前置詞＋関係代名詞、関係副詞 where, when の非制限用法を理解する。 - 読んで得た情報や考えなどについて、聞き手に適切に伝わるように話す。	「はやぶさ」プロジェクトの意義や経緯についてまとめ、発表する。	
	12	10	Lesson 8 The Origin of Santa Claus	- サンタクロースに関する起源やさまざまな出来事を知り、サンタクロースが意味するものを理解する。 - 仮定法過去の復習を通してその定着を図る、仮定法過去完了、さまざまな譲歩の表現、同格を表す that の用法を理解する。 - 読んだ内容を相手に効果的に伝わるように、適切に話したり書いたりする。	歴史的起源などを踏まえて、サンタクロースの文化的な意味について自分の意見をまとめ、発表する。	
3学期	1	6	Reading 2 Rita, a Woman Who Loved Japan and Its People	- スコットランド出身の主人公リタが、さまざまな苦難を乗り越えながら日本文化を吸収していく姿を通して、異文化理解について考える。 - 読み取ったことを聞き手に伝わるように話したり、まとめて書いたりする。	物語のあらすじを、読み手に効果的に伝わるように表現を工夫しながら書く。	3学期 期末 考査
	2	10	Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	- タイタニック号の悲劇について知り、乗船していた日本人への評価と、その人のその後の生き方を理解する。 - 分詞構文（現在分詞）の復習を通して、その定着を図る、付帯状況を表す with＜with＋名詞句＋修飾語句＞，分詞構文（完了形），分詞構文（過去分詞）の用法を理解する。 - あるテーマについてグループで積極的に討論し、結論をまとめて発表する。	グループで、タイタニック号に乗船していた日本人の生き方について話し合う。	
	3	10	Lesson 10 Japanese Agriculture Is Changing	- 近年の、品質・安全性・効率性に優れた日本の農業について理解する。 - 進行形の受け身＜be 動詞＋being＋過去分詞＞，which の非制限用法（前の節の内容全体を受けるもの），未来進行形＜will be＋現在分詞＞，未来完了形＜will have ＋過去分詞＞の用法を理解する。 - 未知語の意味を推測しながら、内容を理解できるように精読する。	日本の農業について、スピーチ原稿を作成し、聞き手に伝わるように注意しながらスピーチをする。	